

銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

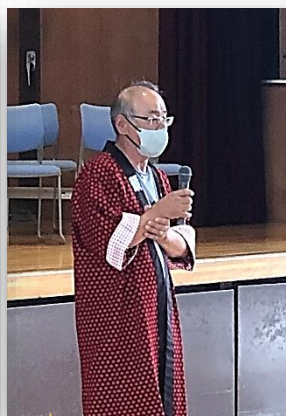
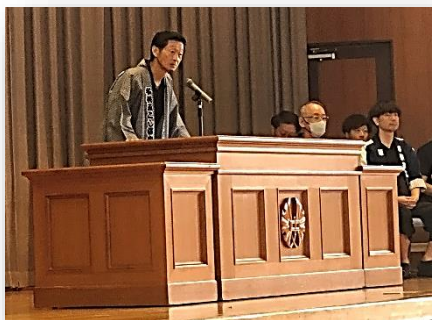
宮中生の力で、地域を精一杯盛り上げます！！



来る7月24日(水)・25日(木)は、熊野大社の夏祭り(例大祭)です。この例大祭に際し、さまざまな神事や行事が行われますが、今年度も、万燈神輿そして子供みこしに参加し、地域の一員として、宮中生も大いに盛り上げてほしいと願っています。

7月8日(月)の朝には、子供みこし保存会会長の大竹直様、西部頭取の恩地耕一朗様、東部頭取の大竹誠喜様、南部頭取の菅野和弘様をはじめ、関係の皆様にご来校をいただきました。大竹会長からは「ふるさと講話」として、この祭りの歴史とともに宮中生へのエールをいただき、それぞれの頭取の方々からは、地域の伝統を継承していくことの大切さをお話いただきました。

また、同日夕方には、宮神會の皆様に来校いただき、神輿の担ぎ方や脚の運び方、掛け声のかけ方等をご指導いただきました。まだまだ慣れない姿もありましたが、楽しみながら盛り上げようとする姿が、とても印象的でした。



<お願い…>



万燈神輿・子供みこしを含めた熊野大社例大祭への対応として、7月24日(水)・25日(木)は、生徒休業日といたします。2日間とも家庭・地域での活動が主となりますので、ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。また、たくさんの観光客等が集まり、予想外のトラブルに巻き込まれることも想定されます。自分の行動にしっかりと責任と自覚を持ちながら、お祭りを楽しんでください。

宮中生として地域の一員として、日本中に誇ることができるお祭りになるよう、我夢謝楽になりながら、盛り上げていきましょう。熱中症にも生徒の皆さんはもちろん、ご家族の皆様も充分気を付けてください。

第1回“学校運営協議会”を行いました！

7月9日(火)、今年度第1回の学校運営協議会を開催しました。「生徒が育つ学校の創造」を柱にした本校の学校経営等を委員の皆様にご説明したり、宮中生の学びの様子を参観いただいたりしました。

委員の皆様方からは、「NAFの活動は素晴らしい。この経験が、今後にもつながるようにしてほしい。」「ICTやデジタルが大切な時代だが、それに頼りすぎず、“読み・書き・そろばん”も大事にしたい。」「中学生も頑張っているから大人も頑張れる。」などのたくさんの貴重なご助言をいただきました。大変ありがとうございました。今後とも、ご指導をよろしくお願いたします。



令和6年度 本校学校運営協議会の皆様

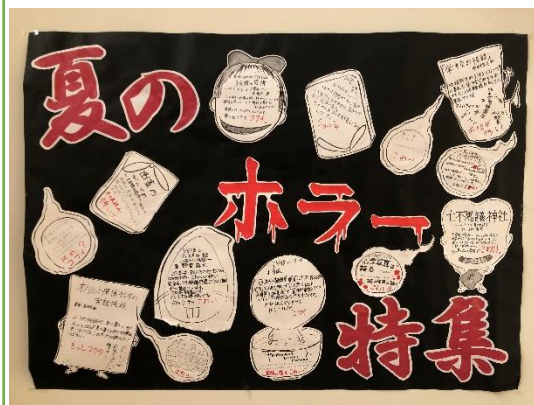
- 委員長 松本 正彦 様 (宮内地区長会長)
- 委員 細川 英二 様 (宮内公民館長)
- 小林 繁治 様 (金山公民館長)
- 高橋 正幸 様 (漆山公民館長)
- 山口 清 様 (吉野公民館長)
- 高橋 仁智 様 (本校教育後援会長)
- 後藤 真道 様 (本校PTA会長)



読書にも親しむ夏にしてみましょう・・・

生徒会学習委員会では、さまざまな“進”企画が提案され、教え合い学習をしながら、学力向上のさらなる強化を目指した「チャレンジオリンピック」の取り組みなど、宮中生の学びの進化が図られています。主体的に学習に向かおうとする姿が、生徒の力で高められていることにとても感激しています。

また、メディアセンター(図書館)にも、この時期にあった本の紹介もなされています。涼しい部屋で読書する時間も、大事にしてみませんか・・・。(猛暑でもソクソクして、涼しくなるかもしれませんね・・・。)



正しい知識を身に付ける“がん予防学習会”を開催しました！

7月4日(木)、子宮頸がんやHPVワクチンの啓発を行っている医学生団体「Vcan」から3名の皆さんに来校いただき、2年生を対象に学習会を行っていただきました。お二人の講師の先生は、「初めての授業だった。」と緊張の汗に笑顔をのぞかせていましたが、「何事も、たくさんの正しい知識を得て、自分事としてとらえ、自分で決めていくことが大切。」ということを教えてくださいました。



【校長の独り言・・・】

今年、パリでオリンピックが行われる年でもあり、その意味でもとても暑い夏になりそうです。バレーボールの日本代表に、川西町出身の高橋

健太郎選手(米沢中央高卒)が選抜されました。高橋選手が中学生の時、保健体育を担当したのが武田先生だったそうです。そのため、今でも、情報のやり取りをされているそうです。

また、陸上100mの代表の一人として、坂井隆一郎選手(大阪ガス所属)が選抜されました。最近、日本陸上競技選手権大会等がテレビでも放映され、その走りを目にした人も多いかもしれません。坂井選手は、身体を浮かせた状態で、速いもも上げをする練習やバーにつかまりながら上体の姿勢を保って脚を動かす練習に力を入れています。多くの中学生にも、「日本一のスピードには、細かな部分への意識が大事」と伝えていきます。

実は、彼のコーチとして練習を指導している方と、かつて一緒に陸上部顧問をさせていたいただいた時期がありました。当時から地道できつい練習でしたが、とても勉強をさせていただきました。そんな練習をベースに、坂井選手を日本のトップアスリートへと導き、それに答える鍛錬を重ね、二人三脚で勝ち取った日本代表の座です。ぜひ、坂井選手も高橋選手も、それぞれの競技の舞台で、私たちに、たくさんの夢や希望を与えてくれることを楽しみにしています。

あれっ・・・？ 宮中陸上部も坂井選手と同じ練習をしているはずだぞ・・・。もしかすると、次のオリンピックの代表選手に、宮中卒業生から選ばれるかも・・・。

